

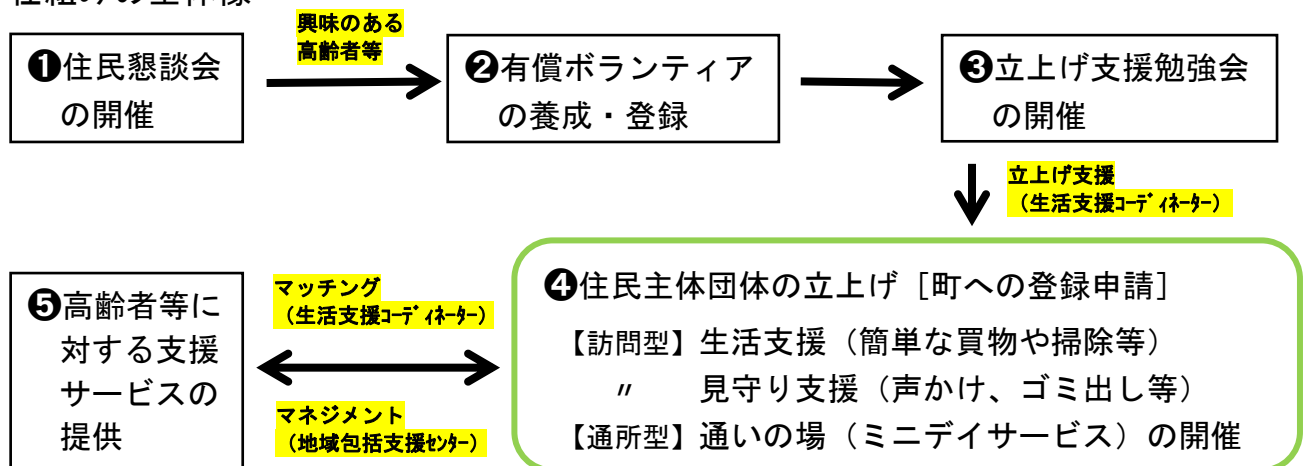
高齢者福祉事業の拡充等について（案）

I 住民が住民を支える仕組みづくり

1 目的

シルバー世代が有償ボランティアとして、高齢者福祉で活躍する場・仕組みをつくり、高齢者自身の社会的な役割や生きがい、介護予防等が実感できる仕組みをつくるとともに、将来的な人材不足が懸念されるホームヘルパー業務の一助となることを目的に実施するものです。

2 仕組みの全体像



3 具体的な取組み

① 住民懇談会の開催

- ・ 高齢者を含む町民向けの懇談会等を開催し、共通の認識を図ります。

② 有償ボランティアの養成・登録

- ・ 住民主体団体の立上げ要件として、養成講座の受講を義務付けます。
- ・ 養成講座は、現行の「介護予防サポーター養成講座」を活用します。

③ 立上げ支援勉強会の開催

- ・ 事例の検討や認識の統一等を図るための勉強会を定期的に開催します。
- ・ 勉強会は、現行の「介護予防サポータースキルアップ講座」を活用します。

④ 住民主体団体の立上げ

- ・ 町に対する登録手続きにより、住民主体による団体を立ち上げます。
- ・ 住民主体団体に対し、活動費等の補助・助成を行います。

⑤ 高齢者等に対する支援サービスの提供

- ・ 生活支援コーディネーター（介護課に配置）において、支援サービスを求める求める高齢者等と住民主体団体とのマッチング（紹介）機能を確保します。
- ・ 支援サービスの提供に当たっては、地域包括支援センターによるマネジメント（連絡・調整等）を実施します。

4 補助・助成額等

(1) 補助・助成額

- ・住民主体団体の活動等を支援するため補助・助成します。
- ・補助・助成額は、1団体につき1～3万円/月をベースに検討・調整します。

(2) 財源

介護保険事業特別会計における地域支援事業の活用を検討します。

【財源構成】 国 38.5%、県 19.25%、町 19.25%、1号被保険者 23.0%

5 施行時期 令和7年4月1日

6 その他（これまでの試行的な取組み）

【参考1】専門講師による住民懇談会の様子



【参考2】介護予防サポーター養成講座の様子（＝有償ボランティアの養成）



【参考3】住民主体団体立ち上げに向けた勉強会の様子



II 高齢者温泉入浴事業の見直し

1 事業の目的

高齢者等の外出・ふれあいの機会を増やすことで、健康増進を図ることを目的に、温泉施設の入浴利用料の一部を助成（月４回まで）するものです。

2 見直しの概要

(1) 燃料価格高騰等に伴う入浴料金の見直し（※本人負担の影響なし）

ゆがわら万葉荘【現 行】	【見直し案】ゆがわら万葉荘
【利 用 日】月～日曜日 ※休館日、GW、年末年始を除く	【利 用 日】月～日曜日 ※休館日、GW、年末年始を除く
【利用時間】13：00～16：00	【利用時間】13：00～16：00
【利用料金】800 円（本人負担 400 円） （助 成 額 400 円）	【利用料金】1,000 円（本人負担 400 円） （助 成 額 600 円）

(2) 事業対象施設の拡充（２施設）

【新規】こごめの湯	【新規】ゆとろ嵯峨沢の湯
【利 用 日】月～金曜日 ※土・日、祝祭日、休館日、指定日等を除く	【利 用 日】月～水曜日 ※土・日、祝祭日、休館日、指定日等を除く
【利用時間】9：00～21：00	【利用時間】12：00～16：00
【利用料金】500 円（本人負担 200 円） （助 成 額 300 円）	【利用料金】1,000 円（本人負担 400 円） （助 成 額 600 円）

3 事業費の推計

	R 3	R 4	R 5	R 6（見込）	R 7（推計）
❶ 対象施設数	2 施設	2 施設	1 施設	1 施設	3 施設
❷ 券交付人数	772 人	606 人	576 人	640 人	690 人
❸ 助 成 件 数	2,364 件	2,680 件	3,031 件	3,440 件	3,800 件
❹ 利 用 平 均 （=❸/❷）	3.1 件	4.4 件	5.3 件	5.4 件	5.5 件
❺ 助 成 額 （助成額単価）	946 千円 （@400）	1,072 千円 （@400）	1,212 千円 （@400）	1,376 千円 （@400）	2,280 千円 （@300・@600）

4 開始時期 令和７年４月１日から

5 その他

高齢者温泉入浴助成を含む「高齢者健康増進事業」の各助成券の交付手続きについて、高齢者の利便性を図ること等を目的に、令和７年度分から郵送による受付・交付ができるよう調整します。

Ⅲ 見守りライト貸与事業の実施

1 事業の概要

「クロネコ見守りサービス・ハローライト訪問プラン」（ヤマト運輸株式会社）を活用し、一人暮らし高齢者に対する見守り支援について、効率的・効果的な仕組みを構築するものです。

【ハローライト訪問プランの特徴】

(1) かんたん設置（通信環境や特別な操作等不要）

毎日利用する自宅内のトイレや廊下等の電球をハローライトに変えるだけで簡単に利用でき、また、普段の生活に溶け込むため抵抗感なく利用できる。

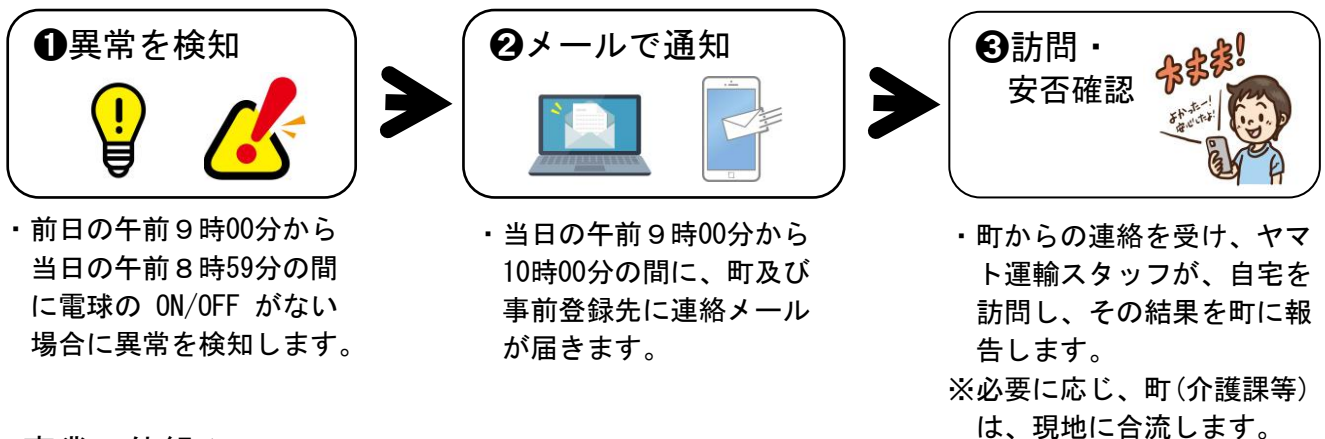
(2) あんしんサポート

地域に密着したヤマト運輸の配送ネットワークを活かし、ハローライトの取り付けから異常検知メール受信時の初期訪問等が行える。

(3) あんしん価格

初期費用はかからず、毎月の料金も1,078円（税込）と利用しやすい設定である。

2 事業の全体像



3 事業の仕組み

(1) 対象者 次の要件を満たす高齢者を対象とします。

- ① 80歳以上の一人暮らし高齢者で、住民税非課税世帯に属する方
- ② 同一の敷地・建物内に親族等が居住していない方
- ③ 緊急通報システムの貸与を受けていない方 など

(2) 費用負担 本人負担なし（※取付けに工事を要する場合等は本人負担）

(3) 実施方法 委託による（ヤマト運輸株式会社）

(4) 施行時期 令和7年4月1日

4 事業費の試算 @1,078 * 12月 * 80人 ≒ 100万円（精査中）

5 その他

本事業の施行に伴い、「食の自立支援事業（見守りを兼ねた配食サービス）」の廃止等について検討します。

ハローライトについて（機能）

機能

LEDとSIMが一体化した世界初のIoT電球【HelloLight】
24時間(前日AM9:00～当日AM8:59)電球の動きを計測し、
点灯したまま/消灯したままなどON/OFFの動きが無い場合
に電球が自動的に異常を検知し、事前に設定した通知先に
メールでお知らせ。

特徴

① Wi-Fi不要 ② 工事不要 ③ コンセント不要

自宅の電球を交換するだけで利用可能で、通信環境の
無いご高齢者のお宅でも導入が容易です。
普段の生活に溶け込み利用負担が少なく効率的に異常
を検知します。

補足

- ・ 携帯電話の基地局を通じて通信を行います。
- ・ 通知先は**最大4件登録可能**です。
- ・ 設置場所の通信状況により利用ができない場合があります。

